

Pearl

# SOUNDCHECK SERIES DRUMS

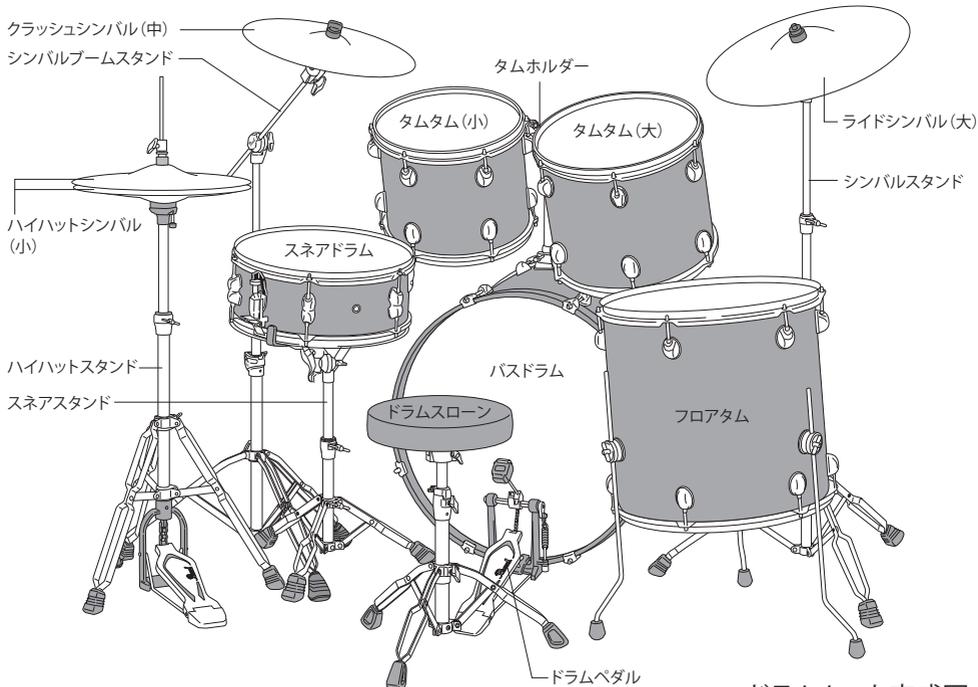
## "SOUNDCHECK" Series Drums / 取扱説明書

このたびは、"サウンドチェック"をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

安全にお使いいただき、製品の機能を十分に発揮していただくために、この取扱い説明書を必ずごらん下さい。

### ■パッキングリスト このパッケージには以下のものがふくまれます。

- |                                   |                           |
|-----------------------------------|---------------------------|
| ●チューニングキー/グリス …………… x1            | ●フロアタム用テンションボルト …………… x12 |
| ●バスドラム・シェル(胴) …………… x1            | ●フロアタムレッグ …………… x3        |
| ●バスドラムヘッド(フロント/打面) …… x1pr        | ●ハイハットスタンド…………… x1        |
| ●バスドラム用フープ …………… x1pr             | ●ドラムベダル …………… x1          |
| ●バスドラム用テンションボルト&フック・ x16 (SC625C) | ●スネアドラム …………… x1          |
| ●バスドラム用テンションボルト&フック・ x12 (SC685C) | ●スネアスタンド …………… x1         |
| ●フープクランプゴム …………… x1               | ●シンバルブームスタンド …………… x1     |
| ●タムタム(大・小) …………… x2               | ●シンバルスタンド …………… x1        |
| ●タムホルダー …………… x2                  | ●ドラムスローン …………… x1         |
| ●フロアタム・シェル(胴) …………… x1            | ●スティック …………… x1pr         |
| ●フロアタムヘッド …………… x1pr              | ●ハイハットシンバル(小) …………… x1pr  |
| ●フロアタム用フープ …………… x1pr             | ●クラッシュシンバル(中) …………… x1    |
|                                   | ●ライドシンバル(大) …………… x1      |



ドラムセット完成図

## バスドラムの組み立て

サウンドチェックシリーズのバスドラムは、シェル（胴）本体とパーツが別々に梱包されていますので、下記の順に組み立てて下さい。

1. バスドラムのフロント側（バスドラムスパーのついている方）を上にしてシェルを床に置き、パール・ロゴのあるヘッドをかぶせ、バスドラムフープを（平らな方を下にして）のせます（図1）。
2. バスドラムフープにフックを引っ掛け、フックにテンションボルトを通し、ラグのラグナットにネジ込んでヘッドにテンションをかけます（図1）。

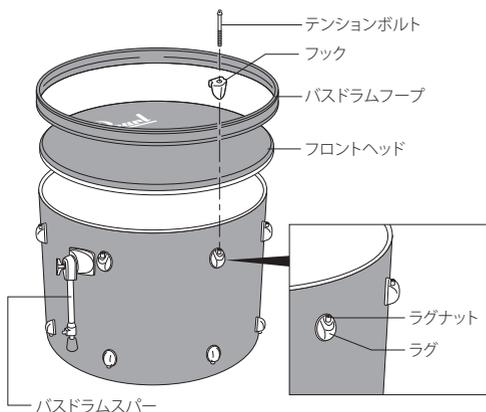


図1（フロント側）

3. 次にバスドラムの打面側を上にして、フロント側と同様、ヘッド、フープを取り付け、テンションボルトをフックに通してラグのラグナットにネジ込んでヘッドにテンションをかけます（図2）。

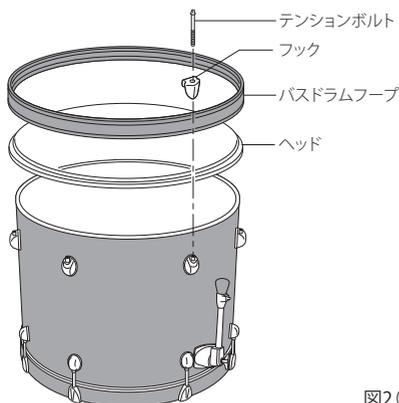
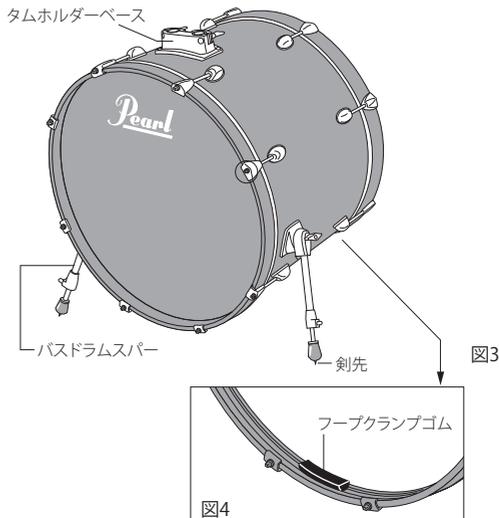


図2（打面側）

4. タムホルダーベースが上になるよう、バスドラムをおき、左右のバスドラムスパーを出します。左右のスパーが同じ長さになるようにし、必要に応じて剣先を出して下さい（図3）。
5. バスドラム打面フープの、ドラムペダルを取り付ける位置にフープクランプゴムを貼って下さい（図4）。



### ▲ 注意

剣先を出した場合、床を傷つける場合がありますので、ご注意ください。

## タムタムのセッティング

2つのタムタムを、タムホルダーでバスドラムのタムホルダーベースに取り付けます。タムホルダーには、回転・ズレ防止のためのリング・ストッパーがついているので、タムタムの位置関係や角度が決まったらロックをしましょう。また、リング・ストッパーを一度固定しておけば、次からのセッティングが大変スムーズになります（図5）。

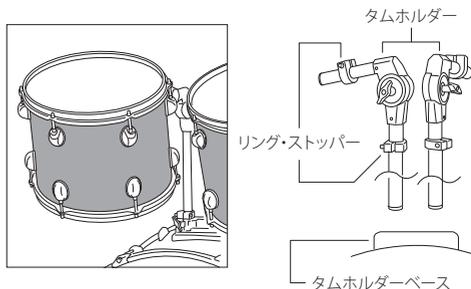


図5

## フロアタムの組み立て

サウンドチェックシリーズのフロアタムは、シェル（胴）本体とパーツが別々に梱包されていますので、下記の順に組み立てて下さい。

1. 打面側を上にしてシェルを床に置き、ヘッドをかぶせ、スチールフープをのせます（図6）。
2. スチールフープにワッシャー、テンションボルトを通し、ラグにネジ込んでヘッドにテンションをかけます（図6）。
3. ボトム側（フロアタム・レッグブラケットのついている方）を上にして、打面側と同様、ヘッド、フープをかぶせ、テンションボルトをスチールフープを通してラグにネジ込んでヘッドにテンションをかけます。
4. フロアタムは付属のフロアタムレッグをレッグブラケットに差し込み、ウイングボルトで固定します（図7）。

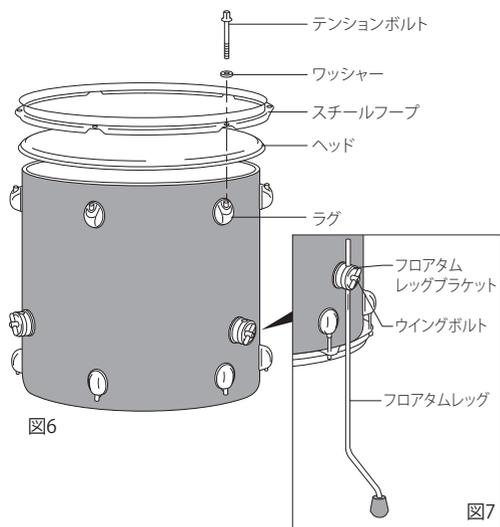


図6

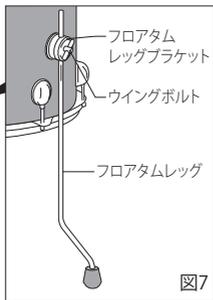


図7

## ハイハットスタンドのセッティング

### フットボード&脚部のセッティング

脚部を適度に開き、フットボード下のラジャスロッドの先端（左右とも）をメインポストの接続部（穴）に差し込みます。メインポストが垂直に立っている事を確認したら、ウイングボルトを締めて、脚部を固定します（図8）。

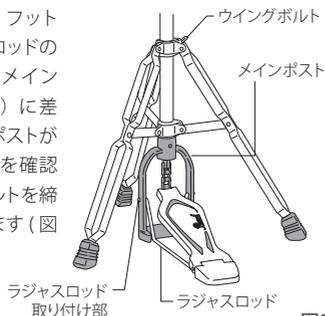


図8

## 上部の組立て

脚部のダイカストジョイント内のプルロッド先端コネクターに、上部のプルロッドを差し込み、止まるまでネジ込みます（図9A）。上部パイプを上部プルロッドに通して上から差し込み、好みの高さに調整してダイカストジョイントのウイングナットで固定します。2枚のハイハットシンバルの内、ボトム用シンバルをカップに乗せます。トップ用シンバルはハイハットクラッチの2枚のフェルトの間にはさみ、ナットで下から固定し、プルロッドに上から差し込みます（図9-B）。シンバルの間隔を調整するには、フットボードのペダルを踏み込み、上下のシンバルに適度な隙間ができる位置でハイハットクラッチのウイングボルトを締めてください。

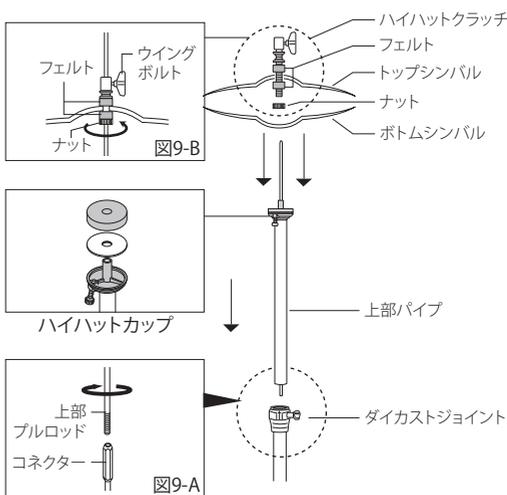
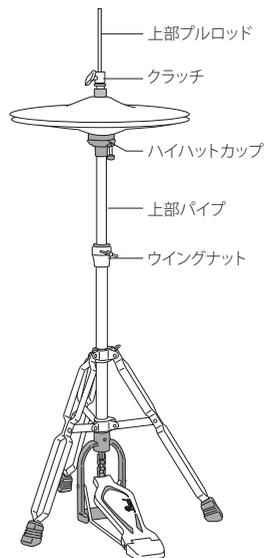


図9-B

図9-A

## ドラムペダルのセッティング

ドラムペダルのスプリングのフックをカム・ローラーに引っかけ、ピーターのシャフトをピーターホルダーリンクの穴に差し込み、チューニング・キーでキーボルトを締めて固定します(図10)。次に、フットボードの下にあるフープクランプ部でバスドラム・フープをはさみ込み、付属のチューニングキーを使って、ボルトで固定します。ペダルを踏み込み、スプリングのテンションを好みに合うよう、上下のナットで調節して下さい(図11)。

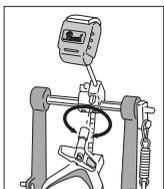


図10

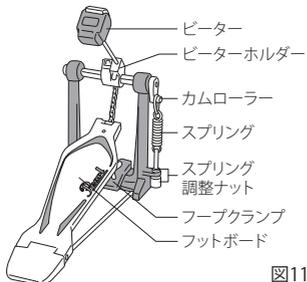


図11

## スネアドラムのセッティング

脚部を適度に開き、スネアスタンドのバスケット部(上部)を十分に広げ、スネアドラムをのせてからハンドルナットで固定します。その際、ストレイナー(スイッチ)は左手で自由に操作できる位置にしておきます(図12)。

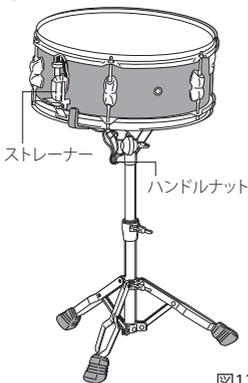
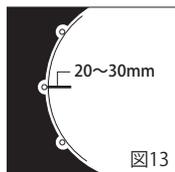
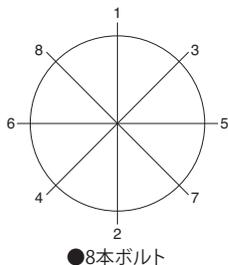
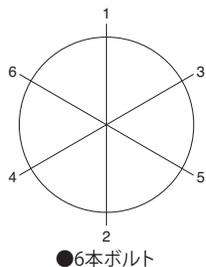


図12

※各スタンドのセッティングポジションは"ドラムセット完成図"を参照して下さい。

## 基本的なチューニング

基本的なチューニング(音合わせ)方法を、スネアドラムを例にとり、ご紹介いたします。まず、対角線上にあるテンションボルトをそれぞれ少しずつ締めながら、全体のピッチを上げていきます。リム(フープ)の近くのヘッド面をスティックなどで軽く叩き、音程(ピッチ)がバラついていたら、テンションボルトの締め具合を調節して、ピッチを整えます(図13)。タムタムやバスドラムなどのチューニングも基本的には同じですが、一般的なロックサウンドをつくるには、裏側(ボトム)のヘッドのピッチを打面側(トップ)よりやや高めにしておくとういでしょう。バスドラムの場合、ミュート(ヘッドの振動を抑えること)をすると音が締まって叩きやすくなったり、フロントヘッドに穴をあけると音のヌケがよくなる場合があります。一般的なミュートとしては、毛布などをバスドラムの中に入れてたりする方法があります。また、レモ・マッフルリングコントロールと呼ばれるミュートも効果的で人気があります。なお、ヘッドの穴あけには、レモ・ホールカットリングをご利用下さい。新しいヘッドはドラムのエッジによくなじませてからチューニングすることをおすすめします。



チューニングポイント

## 安全にお使いいただく為に

このたびは、パールドラム "サウンドチェック" をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。思わぬ事故やケガを防ぎ安全にご使用いただくため、製品をご使用になる前に、必ず本書をお読み下さい。また本書は大切に保管して下さい。サウンドチェックは本体が重くかさばります。室内での置き場所や日常の取扱いについて、安全にご使用いただけますよう、お願いいたします。また、学校もしくはご家庭で小さなお子さまがご使用になる場合は、指導者の方及びご家族の方から、お子様に適切な取り扱いを教えてあげて下さい。

### 表示記号について

本書では、本製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々に危害を及ぼすことや財産の損害を未然に防ぐための事項を下記の記号で表示しています。内容を良く理解してから組み立ての作業にお取りかかり下さい。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が負傷を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



### お願い

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止をまねく内容を示しています。

- 外部要因によって生じた本器の故障、不具合などの損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

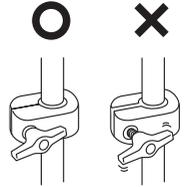
## 設置上のご注意



### 警告

ネジ類はしっかりと締めてください。

練習中の転倒や落下を防ぐために、ネジ類はしっかりと締めてからご使用ください。また、角度調整にギアを用いているモデルでは、ギアをしっかりと噛み合わせてから固定してください。噛み合っていない状態で無理に固定すると、トレーニング時の振動でシンバル等が脱落する事があります。



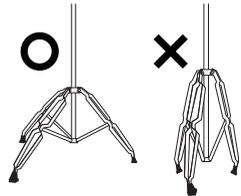
### 注意

床面を傷つけないようにご注意ください。

パズドラムレグやスタンドに使用している脚ゴムは、長時間同じ場所に設置すると床面に色うつりすることがあります。床面やカーペット、畳などを汚して傷つけたりしないためにあらかじめ厚手のカーペットや専用のマットを敷いた上に設置される事を薦めます。

転倒にご注意ください。

スタンド設置時には三脚を十分に開いてご使用ください。



## 取扱い上のご注意



### 警告

スティック類は練習演奏以外に使用しないでください。

スティックやワイヤーブラシはドラムを演奏するためのものです。人の頭や体を叩いたり投げたりといった危険な行為はしないでください。

スティックの折れた破片にご注意ください。

スティックは、木製品です。演奏中に折れて破片が飛び散る可能性がありますので、あらかじめご注意ください。

トレーニングキットの周辺での「遊び」は危険です。

トレーニングキットの周りで遊びますと顔や頭をぶつけたり、つまずいて転んだりする恐れがあります。お子様がトレーニングキットの周りで遊ばないようにご注意ください。

地震の時はトレーニングキットに近づかないでください。

地震による強い揺れでトレーニングキットが移動したり転倒する恐れがあります。地震の際にはトレーニングキットに近づかないようにしてください。



## 注意

### ネジ部の油にご注意ください。

ドラム本体やスタンド類のネジには潤滑油としてグリスが使用されています。持ち運びや設置の際に衣服に付着する恐れがありますので十分ご注意ください。

### ネジ部の油にご注意ください。

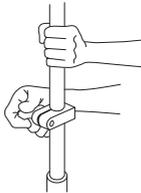
ドラム本体やスタンド類のネジには潤滑油としてグリスが使用されています。持ち運びや設置の際に衣服に付着する恐れがありますので十分ご注意ください。

### 金属部品のサビや劣化にご注意ください。

金属部品は使用しているうちにサビを生じたり、傷ついたりします。サビたり傷付いた部品を強くこすって手にケガをしないようご注意ください。また、ドラムペダルやハイハットスタンドのペダルは素足で踏まないようにしてください。

### タムホルダー、スタンドの調整時は、必ず上部を支えながら行ってください。

タムタムやブラステックシンバルの高さや角度を調整する際に急激にネジを緩めると、ドラムやシンバルの落下によって指を挟む恐れがあります。片手でタムタムやテイルター部をしっかりと支えてからゆっくりとネジを緩めてください。



### 三脚部の折りたたみにご注意ください。

スタンド類の三脚を収納する際は、スタンドを持っている指をはさむ恐れがありますので十分注意して下さい。

## 保管上のご注意



## お願い

### 金属部品は時々乾拭きしてください。

サビを防止するために、ドラム本体の金属パーツやスタンド類は時々乾拭きしてください。

### 高温・多湿となる場所は避けてください。

車の中や直射日光のあたる場所に長時間本製品を保管したりしないよう、保管場所には十分注意してください。

*Pearl*

パール楽器製造株式会社

〒276-0034 千葉県八千代市八千代台西10-2-1

電話：047-484-9111（代表）

〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田593-1

電話：047-450-1090（テクニカルサポート）

<http://www.pearlgakki.com>

製品改良のため予告なくデザイン・仕様を変更する場合がありますので御了承下さい。

Printed in Taiwan.

-1401-